



# 大森二中だより

令和3年度 大森二中の合言葉「思いやり」  
スローガン 笑顔満開 いつも心に太陽を！

令和3年9月号  
大森第二中学校  
校長 成清敏治  
電話 3762-6456

## 「努力」と「やり切る力」と「感謝」

今日、9月1日は「防災の日」です。今から約100年前に起きた関東大震災が9月1日です。年々、日本各地で災害が頻発しており、災害への備えが大事になっています。今年も西日本で大雨被害が起きました。地震もいつ起きるかわかりません。未知なるものへは事前の準備が大切です。この機会に家族の備え、避難場所の確認、備蓄品など、見直ししてみてください。

夏休みの前半はオリンピックで日本人選手の活躍が目立ちました。残念ながら緊急事態宣言下でしたので、無観客の開催となり、中学校の連携観戦は中止となりましたが、テレビの前で活躍に大いに感動したのではないのでしょうか。同年代の中学生や10代の若い世代の活躍もありました。メダルを獲得した人に共通していたことは何でしょうか。1つには、競技に対する惜しみない努力が挙げられます。毎日毎日同じような練習を繰り返して、自分の限界まで挑み、栄冠をつかみとりました。さらに、本番では緊張したと思いますが、声をそろえて「楽しかった」と振り返っています。思い残すことなく、今日を迎えた満足感だと思います。そして、必ず「周囲への感謝」を伝えていました。決して自分1人の力ではなく、サポートしてくれた人や大会を支えてくれた人に対し、素直な気持ちで最大に感謝していました。ここに真のアスリートの魂があると思います。

オリンピック選手と形は違いますが、皆さんも現実には、この生き方を参考にしてほしいと思います。最大の結果を出していくためには、まずは努力、そしてやり切る、さらに感謝、これが人生の方程式です。思いが届かず残念な結果になったとしても、その努力は変わらない普遍のものです。努力してやり切った分だけ、人間は成長します。ぜひ、2学期は全員がそんな生き方をめざし、大森二中がもっと良くなり、もっと生活が充実したものになるよう互いを尊敬し合って進んでいきたいと思っています。

まだまだ、新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言も解除されません。残念ではありますが、3年生の修学旅行は中止になりました。今後も学校行事が円滑に進められるかは見通しが立ちません。だからこそ、普段の学校生活の充実を図ることが重要です。嵐も一生吹き続けることはありません。いつかは必ず平穏な日がくるはずですが、今は大変で思うようにならないことがあっても、楽しく過ごせる友人や見守ってくれる先生はすぐそばにいます。まずは自分の目の前の課題にしっかり取り組みながら、長い2学期を乗り切っていきましょう。

(9月1日 始業式)



### 保護者の皆さまへ

コロナ禍で見通しが立たない不安な状況ですが、できる限り教育活動の充実を図っていききたいと考えています。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

## 「心の中に平和のとりでを！」

今日は平和について考えてみたいと思います。「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」とのユネスコ憲章の前文は、あまりにも有名です。しかし、世界の現実はそんなに理想的なものではなく、戦争をはじめ、貧困や難民問題、経済格差などの諸課題が山積しています。2015年9月には国連サミットで17の国際目標が決められ、SDGs（持続可能な開発目標）として採択されました。

そこでこれらの課題に向き合うヒントの1つとして、2017年にノーベル平和賞を受賞した、ナディア・ムラドさんを紹介します。

彼女はイラクで家族を愛し、敬虔なヤジディ教徒として、生まれ育ちましたが、ある日を境にすべてが変化してしまいます。それは住んでいる地域が「イスラム国」という過激派組織の支配下になってしまったからです。ノーベル平和賞での講演から彼女の言葉を引用します。「私は心の底から皆さんにお話しして、共有したいのです。私の人生の進路、そしてすべてのヤジディ教徒の人生が、ジェノサイド（集団虐殺）によっていかに変化を強いられたかを。そして、過激派組織「イスラム国」(IS)が女性を捕らえて男性を殺害し、我々の巡礼地や礼拝所を破壊することで、いかにしてイラクを構成する要素の一つを根絶しようとしたかを。」

彼女のふるさとであるコーチャという町は、徹底的に破壊されました。絶望の日々が始まり、今までの価値観がすべて壊されてしまいます。しかし、彼女は負けません。講演をこう結びます。「今日は私にとって特別な日です。善が悪に打ち勝ち、人類がテロリズムを破った日です。迫害に苦しんだ子どもや女性が、犯罪者に打ち勝った日です。今日という日が、新しい時代の幕開けになることを願っています。」そして最後に「不正義や抑圧と闘うために団結しましょう。そして一緒に言いましょう。暴力にノー、平和にイエス、人種差別にノー、平等とすべての人々の人権にイエス」と。

彼女は自分の辛い体験をとおして、同じ思いで苦しんでいる人を見捨てておけず、声をあげて立ち上がりました。その思いに共有した人たちが彼女を支え、今回のノーベル平和賞に結びつきました。彼女が書いた本も出版されていて私も読んでみましたが、今の日本では想像できないような苦勞を彼女は数年間味わっていて、本当に強い女性だと感服しました。

今、我々ができることは何でしょうか。皆さんは学習できる環境が保証されています。自分で思い立てば何でも調べられる時代です。そのことをぜひ活用して、まずは「知ること」から始めてみませんか。知ること意識が変わります。自分の環境を見つめることができます。他人の思いに共感することもできます。人間として大事な力が身に付きます。その大事さが実感できることが「平和」ではないかと最近考えています。

ぜひ平和をめざす世界市民の一員として、世界を知り、自分を知り、他者と悩みなどを共有し、まずは自身の心の中に「平和のとりで」を築いていきましょう。

(9月6日 全校朝礼)

### **今後の学校行事について**

9月13日(月) 移動教室始(1年) ※緊急事態宣言延長の場合は延期(区教委より)

9月16日(木) 立会演説会・生徒会選挙

9月17日(金) 大田区陸上競技大会

9月25日(土) 土曜授業 スピーキングテスト(3年)

9月30日(木)・10月1日(金) 第2回定期考査

